

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	海洋生物多様性保全関係経費	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	自然環境局	担当課室	自然環境計画課	課長 星野一昭		
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010 海洋基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海洋生物多様性に関するさまざまな情報の収集整備、生物多様性保全上重要な海域及び海洋生物の保全のあり方を示す戦略の策定、多様な主体の参加によるサンゴ礁保全行動計画の策定を行い、平成20年策定の海洋基本計画でも明記されたとおり、国内の海域における生物多様性保全の取組を推進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①海洋自然環境情報図の作成に向けた海洋生物の生息や保全の状況など、海域にかかる基礎的情報の収集整理およびデータベース基本設計の検討 ②海洋生物多様性保全戦略策定に向けたヒアリングの実施、海洋の生物多様性の現状と課題の分析・検討の実施 ③国内のサンゴ礁に関する情報整備及びサンゴ礁保全のためのサンゴ礁生態系保全行動計画の策定					
実施状況	平成21年度は、「海洋生物多様性情報整備及び保全戦略策定業務」として、海洋自然環境情報図に必要な基礎情報の収集整理及びデータベース基本設計の検討、海洋生物多様性保全戦略策定に向けた有識者ヒアリングの実施、既存の保全制度等の情報収集と整理を行い、課題の検討と分析を行った。また、「サンゴ礁保全行動計画策定業務」として、策定会議を開催し、サンゴ礁生態系保全行動計画のとりまとめを行うとともに、サンゴ礁地域のサンゴ礁に関する情報整備を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	20	39	35	58	
	執行額	26	38	26		
	執行率	130.0	97.4	74.3		
	総事業費(執行ベース)	26	38	26		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	執行にあたり、一般競争入札等による効率的な執行に努め、実施した本件入札では入札残が発生した。事業者とは綿密な連絡を取り、随時必要な調整を行った上で、適正な執行がなされるよう確認に努めている。また、必要に応じ職員が現地出張し、事業進捗や内容の把握を行っている。成果物については報告書を精査し、当該事業の実施結果及び用途の確認を行っている。				
	見直しの余地	今後も競争性のある調達の実施に努め効率的な執行を行うとともに、特に海洋生物多様性情報整備等にあたり一層の効率化を図るなど、課題や目的を十分検討のうえより効果的に事業を進めていく。 なお、平成22年度は、海洋自然環境情報図の構築を行うとともに、海洋生物多様性保全戦略の策定を行い、海洋生態系の危機要因と必要な対策について具体的に検討するほか、21年度に策定したサンゴ礁生態系保全行動計画に基づいて具体的な保全施策の推進に着手することから、21年度に比べて予算の増額が必要である。				
予算執行の監視・所見率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
		19年度	20年度	21年度		
		—	0	0		

○平成21年度海洋生物多様性情報整備及び保全戦略策定業務

環境省
14百万

海域における重要生態系・海洋生物に関する各種データの収集整理、現況評価、既存保全施策のレビューを行うとともに、海洋生物多様性の保全に向けた戦略の検討、策定を行うことにより、海域における海洋保護区のあり方を含めた生物多様性保全を総合的に推進。

【総合評価】

A.(財)自然環境研究センター
14百万

これまでに収集整理した各種情報をもとに、戦略策定に向けて、海洋生物多様性の現況を把握するために、重要な海域の選定にかかる考え方や、既存の海域保護地域制度を整理し、海洋保護区のあり方を検討。

【再委託】

B. いであ株式会社
6百万

海洋生物多様性情報整備及び保全戦略策定業務のうち、データ整備、データベース基本設計の検討を実施。

○平成21年度サンゴ礁保全行動計画策定業務

環境省
10百万

サンゴ礁生態系保全
行動計画の策定

【総合評価】

C.(財)自然環境研究センター
10百万

サンゴ礁保全行動計画策定会議を開催し、行動計画策定のための検討を実施。

那覇自然環境事務所
2百万円

サンゴ礁に関する情報整備
(収集・作成・公表)

【一般入札】

D. いであ株式会社
2百万円

サンゴ礁に関する情報整備
(収集・作成・公表)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (財)自然環境研究センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	海洋生物多様性情報整備及び保全戦略策定調査費	8			
外部委託費	海洋生物多様性データ整備、データベース基本設計検討業務	6			
計		14	計		0
B. いであ株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	海洋生物多様性データ整備、データベース基本設計検討業務	6			
計		6	計		0
C. (財)自然環境研究センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	サンゴ礁保全行動計画策定調査費	10			
計		10	計		0
D. いであ株式会社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	サンゴ礁情報整備(収集、作成、公表)	2			
計		2	計		0